

## WARM BIZ 期間は 11 月 1 日～3 月 31 日

WARM BIZ 期間は 11 月 1 日～3 月 31 日です。今年も毎年大好評の「からだの中からぽかぽか温まるとうがらしウォームビズ企画」が農学部生協食堂にて開催中です。ご興味のある方はぜひお試しください。今季も衣類での体温調節や食べ物の工夫等、無理なく自分に合った方法で、WARM BIZ にご協力ください。



### 1. おかやものづくりフェア2016に出展しました



平成28年2月5日、6日に岡谷市のテクノプラザおかやで開催された「おかやものづくりフェア2016」に出展しました。今回は農学部演習林の間伐材を利用したマイ箸作りのワークショップではなく、私達学生委員会が地域に木育を広める活動と一緒にしている KEES プロジェクトが製品化した、伊那谷で間伐したアカマツを利用した多目的木製ブロック「KEES」による体験コーナーを実施しました。いつもと違う来場者の反応が見られ、子供だけではなく、高校生や大人の方が KEES に触れあう姿は新鮮なものでした。また、大人ほど、何を作ろうか悩んでおり、創造力が試されているようでした。

今回のイベントでは親子連れが多く、KEES は目に止まりやすかったのを実感しました。来場される方の年齢層に合わせて出展内容を変えるのもいいな、と思いました。

(環境ISO学生委員会副委員長 山田実里)

### 2. 「ISO学生委員会が選んだ！今月の環境関連図書」展示中

農学部図書館では、現在「環境ISO学生委員会が選んだ！今月の環境関連図書」を展示しています。展示された図書には、おススメした農学部環境ISO学生委員会のみなさんの顔写真と紹介文がついています。展示図書のラインナップは毎月新しくなります。ご来館の際は是非手にとってご覧ください。



信州大学附属図書館農学部図書館の該当記事URL:

<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/library/agriculture/event/2016/03/post-1.html>

(信州大学附属図書館農学部図書館)

### 3. 農学部環境管理マニュアルと要領・手順書が改訂されました。

環境管理マニュアルが Ver.10.0 → Ver.10.1 に改訂されました。

バージョン改訂情報につきましては、下記URLにて随時お知らせしておりますので、ご確認ください。

農学部環境委員会ホームページURL

<http://karamatsu.shinshu-u.ac.jp/iso/isoagr/>

(農学部環境ISO事務局)

#### 4. 上伊那農業高校の課題研究授業に参加しました



平成28年2月19日に南箕輪村にある「こうあ木工所」にて、上伊那農業高校の課題研究授業の最終回として伊那谷の間伐材を利用した多目的ブロック「KEES」の作成が行われました。私は環境ISO学生委員会としてKEESプロジェクトの活動のお手伝いをしている、今回は作業のサポート役として参加しました。この日は、高校生たちが以前の実習で伐採・製材したアカマツを使用して製品に仕上げる工程でした。

私は、昨年7月に同所でKEES作りを体験した経験を生かし、高校生が機械操作を安全に行えるように努める役でしたが、彼らは手際よく且つ丁寧に作業し、安全に注意しており、感心するばかりでした。

最後に梱包し、1セット完成しました。それは、実際に材料の伐採から商品になるまでの全ての工程に関わった様々な気持ちが込められており、とても魅力的でした。感想発表の場で彼らは「全ての工程に関わったことで、ものづくりの大変さを知ることができた」と言っていました。この課題研究授業を通し、私にも彼らにも大切な経験になりました。

(環境ISO学生委員会副委員長 山田実里)

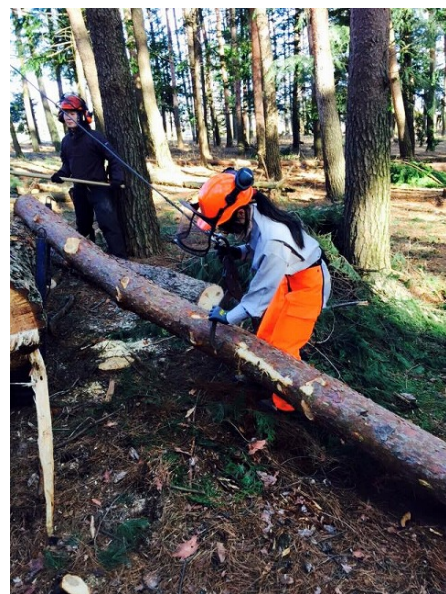
#### 5. ますみが丘地区の森林整備に参加して

平成28年2月21日に、伊那市のますみヶ丘マレットゴルフ場で、地区の住民有志グループ「西地区環境整備隊」と伊那市商店街で活動しているKEESプロジェクトが森林整備を行いました。私は、環境ISO学生委員としてKEESプロジェクトの皆さんのお手伝いを通じて、地域の方との交流を交えた環境活動をしており、この日は木材搬出の講習会に参加しました。

午前中は「安全で迅速な作業」について講義が行われました。講義内容ではその日の森林整備の作業だけでなく、林業以外の全ての作業に通ずる考え方を学びました。特に、「迅速な作業をするために、最後の手順から逆算して作業手順を整える」という考え方は、目から鱗が落ちるような思いでした。

午後は、実際に森林整備の作業を行いました。今回は、伐倒された木材を適切な長さに切り、運材作業を行いました。キャトラという機械の操作指示という重要な仕事を任せられ、手際よくかつ安全に作業を進めるための方法をいろいろと考えながら作業しました。実際に山を所有している方や、現場の人との関わりやお話したこと、作業したことは、大学では経験できないことであり、今回参加して本当に良かったと感じました。

(環境ISO学生委員会副委員長 山田実里)



ISOニュースに関するご意見・ご質問・投稿記事などがございましたら

ISO事務局：[agri-eco@shinshu-u.ac.jp](mailto:agri-eco@shinshu-u.ac.jp)へご連絡ください